



## 世界的に貴重なこの海・絶対に守らねばならない

### —第12回ふるさと講座を受講して— 杉山英司

第12回ふるさと講座「流水とオホーツク海」に参加させていただきました。

私は大学を卒業するまで、道内の内陸で育ったため、初任地の雄武町に引っ越したその日に見た、オホーツクブルーと流水のコントラストは忘れられません（歩くスキーで流水原を歩いたところ、半身水没したことも良き思い出です…）。当時は「景観としての流水」、「はるかアムールに思いをばせてウイスキーロックを楽しむための氷」くらいにしか考えておりませんでした。名産のホタテや牡蠣、鮭をはじめとする豊かな海の恵みをもたらしているのが流水であり、このオホーツクの海だと知ったのは恥ずかしながらつい最近のことでした。

第1部、オホーツク流水科学センターの高橋修平所長のお話では、南極越冬隊における氷のボーリング調査から過去の気候変動がわかることのほか、昔に比べ、現在の二酸化炭素濃度がいかに高く、温暖化が進んでいるのかがよく理解できました。そのほか、海上保安庁巡視船の記号の意味や南極のトイレ事情など、ユーモアあふれるお話やクイズであつという間に時間が過ぎ去りました。

第2部ではふるさと館 JRY の中島一之館長と地元漁師である石垣誠一さんのお話でした。中島館長さんは今年度より湧別中学校で取り組んでいる総合的な学習の時間「ゆうべつ学」において、生徒の主体的な探究活動の推進に具体的なご助言をいただいております。講話の中で「母親からしか遺伝しないミトコンドリアDNAの解析」で自分の祖先がどこから来たのか知ることのできる可能性があること。氷河期、旧石器文化、縄文文化、オホーツク文化、擦文文化期、アイヌ文化期、そして近代に至るまで、ここオホーツクで営まれた人々の生活や文化は多角的な視点から地球の歴史・文化上の「北限」でもあり「南限」でもあったという事実などがわかり、驚きを隠せませんでした。個人的にはシブノツナイ住居跡の調査が進み、この湧別の地でどんな人々がどんな生活や文化を繁栄させていたのか、一日も早くわかる日が来ることを願っています。

石垣さんは湧別小・中学校の学校運営協議会委員さんとして、また愛の声かけ運動や冬のスキー授業の講師としても、あたたかく小・中学校を見守っていただいています。石垣さんご自身の千島列島やオホーツク海北部、アリューシャン列島付近での遠洋漁業のお話は壮大でした。講座後世界地図を広げて確認しましたが、多くの船団でこんなに遠くまで漁に出かけていたんだと漁のスケールの大きさに驚きました（後日さらにお話を伺い、太平洋、インド洋にも出かけたことがあり、行ったことがない海は大西洋だけという驚愕の事実も…）。

今回ふるさと講座に参加して、「流水とオホーツク海」、過去のテーマ「湧別川」「ホタテ」という湧別の自然や歴史に関する内容が、まさに本校で実践している「ふるさとを知り、ふるさとから知る『ゆうべつ学』」に直結する貴重な機会だと改めて実感しました。本校生徒も一人、最前列で食い入るように聴き入っていました。来年はぜひ多くの児童生徒が参加し、ふるさと湧別を深く知り、愛するきっかけになればと思います。

豊かな恵みをはぐくむ流水あるオホーツク海。温暖化が進み、流水が来なくなる予測もされています。冬には海氷に覆いつくされる、世界的に貴重なこの海を絶対に守らねばならないと強く決意した一日でした。講師の皆様、企画されたふるさとから学ぶ会、湧別町教育委員会社会教育の皆様、本当にありがとうございました。

(錦町在住 杉山英司 湧別中学校長)

本校で実践している  
「ゆうべつ学」に  
直結する  
貴重な機会



## <講座参加者の感想・意見～アンケートから>

- ・湧別町に住んで身近なオホーツク海ですが、3名の講師の方のそれぞれの目線からの奥深いお話をお聞きする事ができ、とても良かったです。南極のお話し、楽しく聞かせて頂きました。(60代 女 中湧別)
- ・年々流氷が減っているので興味のある内容でした。また、オホーツク文化についての話も聞けたので、まだまだ発見されていない事もあるようなので、今後がたのしみです。(40代 女 湧別町)
- ・流氷の話、私たちの祖先の話、漁師さんの話、知らないことばかりでわくわくしました。中島さんの話に続きがあればまた聞きたいです。なぜ自分がこのオホーツクの地にいるのか興味深いです。そして高橋先生、カレンダーありがとうございます。トイレで1年間勉強します！(50代 女 遠軽)
- ・今のじょうきょうをしてよかったです。(10代以下 男 湧別)
- ・流氷とオホーツク海の関係について、とても楽しく聴くことができました。ありがとうございました。(60代 男 中湧別)
- ・1部今一聞きづらかった。南極の話が長く、本題の流氷をもっと聞きたかった。2部わかりやすかった。身近な漁業が今後共発展する事を願う！(70代 女 湧別)
- ・高橋先生の話、もっとしっかり聞きたかった。音響が悪く聞き取りづらかった。課題が多すぎて時間ないではムリだった。もう少し講師をしぼってゆっくり深く、長く聞いてみたい。(70代 湧別)
- ・勉強になった。今後も学ぶ機会を提供してほしい。(60代 男 紋別)
- ・どの話も興味深く面白かったです。話を聞くよりクイズの方が頭に入りました。(50代 女 上湧別)
- ・多くの発見があり、大変勉強になりました。特に高橋さんの流氷がなぜプランクトンを増やすのか。「ブライン」「アイスアルジー」が要因ということが面白い発見でした。(40代 男 上湧別)
- ・様々な切り口から湧別とオホーツク海のことを知ることができ、大変有意義な時間でした。普段は聞けない裏話も面白く、石垣さんのノミネーション話もとても気になっています！クイズ楽しかったです。カレンダー欲しかった…(40代 女 遠軽町)
- ・石垣さんの話に出て来た写真(スライド)を見たかった。真っ赤な流氷も！レジメは無くてもスライド写真があったほうが良いと思いました。(70代 女 中湧別)
- ・新しい知識が知れて楽しく聞きました。(60代 男 湧別)
- ・南極の(氷)から地球環境がわかる⇒アメリカ大陸まで氷におおわれていたとは、本当に驚き！私は北から来たのか？南から来たのか？考えたら寝れなくなりそう！高橋先生のお話しもっとお聞きしたいです。よろしくお願いします。(70代 女 中湧別)
- ・高橋先生のお話を興味深くお聞きしました。北大低温研時代の青田先生から何度か勉強をさせていただく機会があり、この時、アイスアルジーについて始めて理解を深めることができ、流氷の成長の仕組みもある程度納得できました。1980年代に北方圏国際シンポジウムに3年間ほど参加させていただき、現在まで継続されていることに感激しています。中島館長のお話し、湧別町は北方文化と南方文化の境界とのこと。網走の北方民族博物館の資料との係りにも触れてほしかったと思いました。(80代 男 中湧別)
- ・人のうごき、でとてもおもしろい話しでよかったです。地域から学ぶ！大切と思います。(60代 男 中湧別)
- ・今の堅調な湧別の暮らしは先人の苦勞と自然、歴史が積み重なっていることを実感できるとても良い



講演でした。経済が優先される中で、自然科学にもシッカリと目を向けることは大切ですね！これからも良い講演を期待しています。※音（声）がききとりにくかったです。（60代 男 湧別）

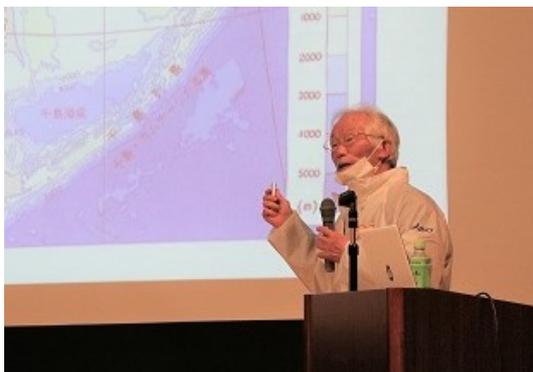
- ・石垣様のお話しが聴きやすかったと思います。

（70代 女 中湧別）

- ・1部～流氷を毎年見に行っていたので、来なくなる未来はとても残念。「豊かな海」のためにもとても大切なことなんですね。南極での話を聞けるとは思わなかったのでもううれしかったです。

2部～旧石器から現代に続くオホーツク海との関わりがとても分かりやすかったです。実際に町内にある資料の写真を見ながらお話しを聞いてよかったです。漁師さんの昔のお話はあまり

聞くことがないので、とてもおもしろかったです。石垣さんが朝にとっている写真、とても興味があります。見たかったです！クイズ楽しかったです！全然答えられませんでした。用意下さりありがとうございます。流氷科学センターの天文の方のお話もききたかったです！（30代 女 上湧別）



- ・大変勉強になりました。知らない事ばかりで、これからは勉強したいと思いました。（60代 女 遠軽）
- ・良い企画をいただき、ありがとうございます。初出席ですが、今後も参加したいと思います。（70代 男 遠軽）
- ・ご当地トークはインターネット等で得られぬ知識ばかりでおもしろい！また機会があれば参加したいと思います。（30代 男 紋別）
- ・豊かさをもたらしてくれているオホーツク海のこと、

湧別が文化の境界点である可能性があること…海の資源についてたくさんの知識を得ることができました。本当に勉強になりました。ありがとうございました。（40代 男 湧別）

- ・とても興味深く参考になった。（60代 男 中湧別）
- ・オホーツク海のことや流氷はどのようにくるか、南極の氷床、体験、オホーツクにどのような人間、動物がきていたかなど知ることができた。そして道具なども石などでもようにけづり、作って使っていることがわかり、すごく勉強になりました。

（20代 男 中湧別）

- ・いつも見た事のない所、聞いた事のない話など楽しみにしています。こん後もよろしくお願いします。（80代 女 上湧別）
- ・大変興味深いお話し、ありがとうございました。（70代 男 中湧別）



〔 講座は、71名（一般53名、関係者18名）の参加で行われ、45人の方から、アンケートの回答をいただきました。ありがとうございます。 〕

# 『オホーツク海を振り返り、根源を知り、極地を想う』

## 石原 宙

流氷科学センターの高橋所長とともに、ふるさと講座に初めて参加しました。定期的に講演会・イベントが実施され、多くの方々が参加されていることに「わが街」への愛着が感じられました。そして、ふるさとの歴史探求や伝統継承の姿勢が根づいていることを実感しました。

私は神奈川県出身で、大学入学を機に北海道に移住しました。在学中にカナダのトロントやロシアのバイカル湖、アラスカのワイズマンに渡り研究に取り組む機会を得、極地の生活や寒冷の街、歴史に対する関心がふつふつと湧きました。生まれ育った温暖な環境とは異なる「未知」に好奇心がかきたてられました。今回の高橋所



長の南極観測隊での暮らしぶりや、普段当たり前とされていることが通じない極限の環境の講座は、参加された方も未知への探求心をもたれたのではないかと思います。質疑応答の折には「トイレはどのように処理しているか」など、極地での日常生活に関連する質問が続き、身近な問題への対応や工夫に「なるほど」と感心されている方も多く見受けられました。当日新たに用意された第四部の極地クイズも好評で、皆さん楽しんでいました。

中島様による「記録から見るオホーツク海と人との関わり」に関して、人類の歴史は生活跡からもわかると、出土した土器や化石から判明しています。私自身、北海道における人類の根源を深く考えたことはありませんでしたが、今回学んだ、オホーツク地域で独自の文化が形成され、自然と寄り添って厳寒の地を生き抜き、その遺構が今もなお、すぐそこに眠っているという事実は、新鮮な驚きとロマンにあふれるものでした。

また漁師の石垣様の講演について、オホーツク海の北側まで漁に行っていた方が会場にいらっしやったことにびっくりしました。当施設の高橋所長も「まさかロシアのマガダンを知る方がおられたとは！」と、驚きの様子でした。そして、オホーツク海の北側が豊かな漁場であったこと、日本の水産加工場会社がロシア本土にも存在したことに非常に興味がわきました。オホーツク海が豊かな海で水産資源に恵まれていることを改めて認識しました。

現在は「捕る漁」ではなく、「育てる漁」へシフトしてきているとのこと、紋別でもホタテやサケなど同様のシステムになっていると記憶しています。近年の地球温暖化による水温上昇、それに伴う生態系の変化や流氷接岸日数の変動、流氷勢力の減少など、懸念されることが多々あります。個人ができることに限りはありますが、古くから受け継がれてきた慣習を大切に、新たな知見を得ることで環境に対する意識向上ができると思います。私も、第二のふるさとオホーツクの環境保全に寄与できるよう見聞を広め、積極的に行動していきたいです。

今回の講演会の企画、実施に尽力された方々に深く感謝いたします。

ありがとうございました。

(北海道立オホーツク流氷科学センター 石原 宙 (いしはら ひろむ))



〔第12回ふるさと講座の感想を、高橋修平所長と一緒に来ていただいた流氷科学センターの石原 宙さんにお願ひしました。ありがとうございます。(梅田)〕

お忙しい中、講師を引き受けてくださった高橋修平所長、中島一之館長、石垣誠一さん、ありがとうございます。

「流氷がなぜプランクトンを増やすのか」「人間の移動と定着の中で、文化が創造される」

「二百海里以前のオホーツク海の様相」・・・など、誰もが出来ない貴重な体験と豊富な資料を駆使して語られた講話は、正に「インターネット等では得られぬ知識ばかり」(30代 男)で、「へえ～」と「なるほど」がいっぱいの楽しい学びになりました。

「クイズ楽しかったです。カレンダー、欲しかった・・・」(40代 女)

湧別町・ふるさと講座のために、「南極の話」から「流氷が来なくなる?!」まで、とても分かりやすい資料を用意してくださった上に、「南極OB会、制作」の貴重な「南極カレンダー」を景品に持参され、「三択クイズ」で講座を楽しく盛り上げてくださった高橋先生、ご協力いただいた「オホーツク流氷科学センター」の皆様、ありがとうございます。心から感謝申し上げます。

一緒に学び、率直なご意見、ご感想を寄せてくださった皆様、ありがとうございます。いただいた講座運営に関するご意見等は、今後の「ふるさと講座」に生かしていきます。

皆様のご協力により、楽しく充実した講座になりました。心から感謝申し上げます。(梅田)